

# 巻 頭 言

取締役兼執行役員  
技術本部長

下 川 徹



日本経済は「アベノミクス」等の経済政策によりデフレ脱却に向かいつつありますが、日本のモノづくり産業が競争力を取り戻し、本格的な成長軌道に戻るには、まだ課題は多く残されているように思われます。短期的には原子力発電所の再稼働等による安価で安定的なエネルギーの確保や、新ビジネス創出のための規制改革といった課題があり、中長期的には人口減少といった課題にも対応しなければなりません。

厚生労働省の人口動態統計によれば、2013年の出生数は過去最少の102万9816人、出生数と死亡数の差である自然増減数は過去最大の23万8620人減となり、7年連続でマイナスになるなど、少子高齢化と人口減少というトレンドは依然、変わらない状況です。また、これによる労働力の減少や市場の縮小は、経済成長や企業発展を大きく阻害する要因であり、中長期の視点で考えると、これらの問題への対応は不可避の状況です。

その中で、企業は労働力不足への対応として、多様な人材の活用とそれを可能にする柔軟な働き方の実現と共に、教育・育成の重要性をますます高めなければなりません。また縮小していく市場に対しては、それを上回る付加価値の実現と新たな市場を求めた展開が必要になります。

弊社は、モノづくり産業のお客様に対し、設備の建設・装置開発・メンテナンスサービスを提供するために、技術開発・技能伝承・人材育成に取り組んでおります。今後、このような環境下で、付加価値の向上を目指すため、設備の建設においては「プロジェクト推進部」を新設し、トータルプロジェクトエンジニアリング業務の更なる向上と展開を進めております。また、装置開発ではお客様のニーズに応えるために、難切材向け超音波切断装置の展開スピードをあげております。さらに、メンテナンスサービスでは、東京ビッグサイトで行われました第38回メンテナンス・テクノショーでもご紹介しました回転機械の設備診断等のメニューを取り揃えて、お客様のご要望に積極的に対応してまいります。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本号では、弊社が取り組んでおります技術開発・製品等について、その一端を紹介させて頂いております。論文・報告をご一読頂き、皆様の忌憚のないご意見・ご批評を頂ければ、誠に幸甚でございます。